

東京大学オープンキャンパス report

2009年8月5日～7日 実施

高校1年生の希望者63名は、進路選択についてより深く考えられるようにするために、東京大学のオープンキャンパスに参加しました。大学だけではなく、国会議事堂や六本木ヒルズ、お台場なども見学し、政治・文化・経済の中心地である「首都東京」を体感することができました。

第1日目 東京見学

はとバスに乗って東京の街を見学。六本木ヒルズやお台場、国会議事堂などを訪れ、首都東京を存分に感じました。



政治の中心地 国会議事堂を見学

はとバスで東京半日観光に出発



第2日目 東大オープンキャンパス(本郷キャンパス) & OB・OGとの懇談会

本郷地区のオープンキャンパスに参加。それぞれの学部や研究所では、たくさんの企画が用意されており、それぞれ興味のある企画に参加しました。



東大 赤門



受付は長蛇の列。全国から多くのライバルが参加していた。

まず敷地の広さ、これに圧倒された。さすがは天下の東大と言うべきだろうか、いくら人が入ってもまだまだ入りそうなくらいだ。まず自分は真っ先に講義を受けたが、多分先生は良かった方なのだろう、巨大スクリーンに映し出された文章を速めのスピードで読み飛ばしていった。正直、「聞かせる」ということを目的とした高校までの授業とは違うと聞いていたが、ここまでとは思っていなかった。それほど、生徒に対して一方的に呟く授業をしていた。スクリーンがあることが救いだった。大学の授業の厳しさを体感した気がした。できれば、もっと他の講義も聞いてみたかったな、と思った。

応用化学に以前から興味があった自分は、研究室見学の際、迷わず応用化学科に志願した。結果として、実際に実験は出来なかったものの、実験室の雰囲気を楽しむことができたし、理論を教えてもらった上で、質問をぶつけてみたりと非常にワクワクする時間を過ごせたと思う。ここは本当に行ってよかったと思った。

地震研究所は、今までの膨大なデータをもとに綿密な実験・観測をしているところで、本当の意味での「研究者」が本気で集まってくるみたいだった。ツアーはわかりやすく、地震のことをくわしく知ることができた。一般人にもわかりやすく説明してくれ、逆にそれがレベルの高さの裏返しなのかもしれない、と思った。やはり東大は様々な意味でレベルが違う。肌で感じることでできたのは本当に良かったと思う。できれば来年も行きたい。 (T・K)

夜は、**現役東大生のOB・OGの先輩7人を宿舎に迎え、懇談会を行いました。**東大生として・岡白卒業生として、オープンキャンパスとは違った視点から、東大や勉強についての話を聞くことができ、有意義な会となりました。



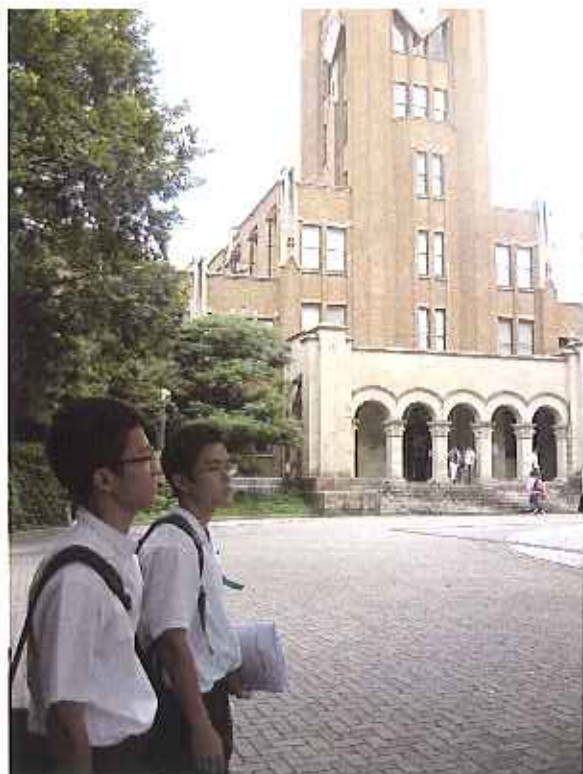


今回の東大見学で一番感じたことは、今まで自分の持っていた「大学」のイメージが非常にあいまいな物だったということである。東大の中に入った時、何か独特な緊張感をすぐに感じることができた。企画を回って、何か新しいことを知るのも良い経験となると思うが、「生の空気を感じる」ということも同じくらい大事な経験になると思う。もう一点、自分が良い経験になったと思うのはOB・OGの先輩との対談である。自分達と近い環境で生活してきた人たちが、学校生活や卒業後に何を感じ、何をしてきたのかを聞けるという機会はそうないと思う。自分よりも年上の人の経験談が自分に大きな刺激を与えてくれることを今回初めて知った。

(S・Y)

第3日目 東大オープンキャンパス(駒場キャンパス)

最終日は、駒場地区のオープンキャンパスに参加しました。実際に、大学1・2年次を過ごすことになるキャンパスを目の当たりにし、東大への思いをより深くしました。「3年後の春にはここに帰ってくるんだ」という決意を胸に刻みつつ、全員無事に家路に着きました。



自分が今回、このオープンキャンパスに参加した理由に、日本の最高峰を見てみたいというのがありました。実際、自分が想像していた以上に東大というものはすごくて、そこの空気もとても変わったものでした。

自分は医学部志望だったのですが、周りの声をきくと、文系向きとよく言われたので、この夏に文系にすることに決めたのですが、その決め手となったのもこの東大オープンキャンパスでした。文系の企画は自分が思っていたのより、ずっとおもしろいものでした。この東大オープンキャンパス終了時に、「東大で勉強してみたい」と思うようになりました。(T・N)

*後輩の皆さんへ

正直、「まだ高1だしオープンキャンパスなんてまだ早いかなー」とも思ったけれど実際に行ってみて、あらゆる「日本一」を体感して、行くのは早ければ早いほどいい、と思った。高2や高3では時間がないから今のうちに、という消去法的な考えではなく、今じゃないとだめなんだ、と思っていくべきだと思う。様々な場所を見学することで、具体的に自分がこの場所で授業を受けているところを想像できることは、これからの受験勉強においても大きなプラスになる。東大を目指している人もそうでない人も、大学をせっかく見に行くんだったら、日本で一番を見に行くのが一番お得なのだから、ぜひ参加してほしい！(M・O)